

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
加藤 智也	C312	tomoya.kato		水曜日 10:30～	
授業の目的・概要	近年「作業療法士は“その人らしさ”を支えるリハビリテーション専門職」という一般向けの標語が頻繁に用いられるようになった。このやさしい言葉は作業療法の本質を本当に表示しているのか？この授業では “その人らしさ”を個性尊重やダイバーシティ&インクルージョンという現代的な問題意識からだけでなく、“人間性 human nature”への学際的な問いを背景に発展してきた精神領域の作業療法を学ぶことで応えることを目的としている。したがって本授業は、精神領域の作業療法の歴史や考え方を、「基礎作業学」や「作業療法概論」をもとに学習することを主題とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	「精神領域」の作業療法に関わる複数の科目の位置づけについて、2年次前期に学ぶ「精神作業療法評価学演習」は、精神医学や心理学を基礎とした「精神機能」を主題にした科目であり、主に3年次の「精神障害作業療法治療学演習」に連続する。本科目は「基礎作業学」の他、人文諸学全般を基礎にした作業に基づく実践を学ぶものであり、同じ「精神領域」ではあるが他の2科目から比較的独立している。				
教科書	臨床作業療法シリーズ 精神領域の作業療法 第2版—プログラム立案のポイント / 編:石井良和 他 / 中央法規出版 / 2016				
参考書	標準作業療法学 専門分野 作業療法学概論 第4版 / 編:能登真一 / 医学書院 / 2021				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神領域の作業療法の歴史について説明することができる			HSU(1),(2)、OT (1),(2)	
②	作業療法の基礎概念や理論について説明することができる			HSU(1),(2)、OT (1),(2)	
③	精神科リハビリテーションについて説明することができる			HSU(2)、OT (1),(2),(3)	
④	精神障害作業療法の構造と実践形態について説明することができる			HSU(2)、OT (1),(2)	
⑤	精神保健医療福祉全般について説明することができる			HSU(2)、OT (1),(2),(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	作業療法の歴史 : 作業療法の起源とされる「道徳療法」「美術工芸運動」「作業教育論」について学ぶ。	講義	事前に参考書『作業療法概論』p15-22の「作業療法の歴史」を予習する。提示資料のポイントを整理する。	1	
2	作業療法の原理 : 作業療法の哲学的前提とは何か、Moseyの「作業療法の配置」と専門職としての位置づけについて考える。	講義	事前に参考書『作業療法概論』p22-26の「作業療法の原理」を予習する。提示資料のポイントを整理する。	1	
3	作業療法の前提 : Reillyの基本仮説「手の使用」と作業行動理論. Kielhofnerのアメリカ作業療法の歴史について学ぶ。	講義	事前に教科書 p14-18の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	
4	作業療法の哲学 : Meyerの「作業療法の哲学」、GalenやJaspersの言葉から、作業療法に通底する「使用」と「自然」について学ぶ。	講義	事前に教科書 p19及び事前提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	
5	作業療法の倫理 : 作業療法は倫理的実践であるという主題のもと、「ヒポクラテスの誓い」やWFOTの「倫理綱領」を再読し、人権擁護や person-centred について考える。	講義	事前に参考書 p87-96の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	
6	作業療法の背景 : 「人間性 human nature に関する12の理論」を概観した後に、Yerxaの人文主義的な作業療法及びマインドフルネス作業療法について紹介する。	講義	事前に教科書 p121-124及び提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	
7	自己の使用 : 精神科の主要概念である「自我」と「自己」の違いについて考察した上で、「自己の使用」について学ぶ。	講義	事前に参考書 p162-164の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	
8	日本の精神科作業療法の歴史 : 臺の「精神科作業療法の概念」を読み、日本の作業療法の歴史について学ぶ。	講義	事前に参考書 p19-22の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

9	精神科リハビリテーション ：リハビリテーションと作業療法の関係、その歴史や考え方について、精神科リハビリテーションにおけるパーソナル・リカバリーの概念について学ぶ。	講義	事前に提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
10	精神保健と作業療法 ：Galenの「保健 hygiene」と「使用（雇用）」について学ぶ	講義	事前に提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
11	精神保健とコミュニティ ：Meyerの「精神衛生運動 mental hygiene movement」について学ぶ	講義	事前に提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
12	精神保健医療福祉 ：日本の精神保健医療福祉及び雇用に関する法律・制度について学ぶ	講義	事前に教科書 p180-184 の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
13	精神保健医療福祉 ；精神保健医療福祉の現状について学ぶ	講義	事前に提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
14	精神領域における作業療法の理論モデル ：治療構造論、人間作業モデルなどの治療理論について学ぶ	講義	事前に教科書 p79-109 の予習をする。教科書及び提示資料のポイントを整理する。	1
15	作業を理解するための新たな視点の紹介 ：transaction論と narrative-in-action について学ぶ	講義	事前に提示資料の予習をする。提示資料のポイントを整理する。	1
試	定期試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤	✓	
	⑥		
レポート	①	✓	レポートは左記基準で採点后返却する
	②	✓	
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

評価の方法		評価のポイント	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	なし			
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として 20 年以上の実務経験を有している。			
実践的授業の内容	テキストと併せて視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。 また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。			
そ の 他				